

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース

NO. 96

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 HomePage お問い合わせフォームより

発行人：室橋 高男

〒060-0033

札幌市中央区北3条東8丁目

J A北海道厚生連

札幌厚生病院 臨床工学技術部門

TEL 011-261-5331

FAX 011-271-5320

祝・公益社団法人化

11月1日 公益社団法人に移行しました！

皆様、日頃より北海道臨床工学技士会の活動に格別のご高配を賜り、篤くお礼申し上げます。

当会は、平成22年10月13日に北海道の公益認定等審議会において審議され、10月27日に認定答申を頂きました。その後、11月1日法務局へ登記申請を行い、同日、特例社団法人から公益社団法人へ無事移行することができました。

今後は、公益社団法人北海道臨床工学技士会として、更なる公益事業を展開し、臨床工学技士の役割を道民の皆様知ってもらい、かつ、皆様の利益となる活動を展開する所存でございます。

今後とも、会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成22年11月1日

公益社団法人北海道臨床工学技士会

会長(代表理事) 室橋 高男

第21回北海道臨床工学会

- 会 期 2010年12月5日(日)
- 会 場 札幌コンベンションセンター
〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1
- 大 会 長 室橋高男

MDIC 単位取得 一日参加10点、演題発表10点、共同演者3点

ペースメーカ関連専門臨床工学技士単位取得 一日参加8点、演題発表5点

上記日程で第21回北海道臨床工学会が開催されます。

時節柄、御多忙のことと存じますが多数の参加をお願い申し上げます。

詳細は公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページをご覧ください。

<http://hcea.umin.ac.jp/>

第21回北海道臨床工学会プログラム掲載中、また会員専用欄には抄録集掲載中です。

各セミナー盛会のうちに終了

アフレス技術セミナー2010

第30回日本アフレス学会北海道地方会



アフレス技術セミナーの様子

去る10月2日に札幌北楡病院 講堂においてアフレス技術セミナー2010・第30回日本アフレス学会北海道地方会が開催されました。本セミナーは、北海道臨床工学技士会では日本アフレス学会北海道地方会の後援を頂き、合同開催となりました。日々の業務ですぐに役に立つ有意義な内容を中心に講演いただき、総参加者数115名のご参加をいただき無事盛会のうちに終了することができました。

また何かとご多忙のなか、ご講演いただいた諸先生方ありがとうございました。



熱心に聞き入る参加者たち

第1回卒後教育セミナー

「論文の書き方と統計処理をしっかりと学ぼう!」

10月17日にはムトウ本社6階にて、第1回卒後教育セミナーが開催されました。今回は「論文の書き方と統計処理をしっかりと学ぼう!」をテーマに正しい論文の書き方、医療現場での統計処理について知識を深めるように企画され、これから論文を書く上ですぐに役に立つ内容で講演いただき、総参加者数52名のご参加をいただき無事盛会のうちに終了することができました。また、ご講演いただいた旭川赤十字病院 和田篤志先生、前 鳥居薬品株式会社 松本一彦先生にはこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。



卒後教育セミナーの様子

また、卒後教育セミナーに参加された方で、疑問点等ある方は、当会ホームページの専用フォームから質問を受付けておりますので、上手に活用しスキルアップにつなげましょう。

an introducer

～会員たちの業務紹介～

今号より新連載となりました（不定期）「an introducer」では、会員の皆様の日ごろの業務を紹介していただくコーナーを設けました。本コーナーは会員の皆様から寄せられる記事をもとに連載していきます。第1回目は、北彩都病院の野尻誠さんです。



医療法人仁友会 北彩都病院
診療技術部 臨床工学科
野尻 誠

最初に、当院は平成17年の5月に「石田病院」から「北彩都病院」へと改名し、場所も旭川駅を降りて徒歩1分の場所へと移動しました。また同じ旭川市内にクリニックもあります。現在旭川駅も改築中で、駅前が日々新しく変化しているように思えます。

臨床工学科は本院12名とクリニック4名の現在16名体制で行っており、主に透析業務に従事しております。月水金が午前・午後・夜間の3部、火木土が午前・午後の2部からなっており、透析患者さん（CAPD含む）の数も本院・クリニック合計で530名近い数となっています。旭山動物園効果もあるためか、駅前という立地条件もあり、道内・道外からもたくさんの患者さんが旅行透析などで利用されていて、



北彩都病院の外観

「病院ではなく、ホテルかと思った」と言われる方もおられます。

その他にもLDLやLCAPなどの特殊血液浄化であったり、シリンジポンプや輸液ポンプ・呼吸器・除細動器といったME機器管理業務、最近では手術室にも入るようになり、技士が必要とされているのを感じます。

グローバルネットワークの構築という形で海外の病院と友好提携を結び交流研修を行ったり、透析医療についての研究会として道外の病院と勉強会を開催したりしており、安全でより良い透析が出来るよう日々邁進しております。



北彩都病院 臨床工学科のスタッフ

ボーリング大会やキャンプ、忘年会といった病院行事においても積極的に身体を張って取り組み、技士科の存在感を存分に発揮しています！（笑）

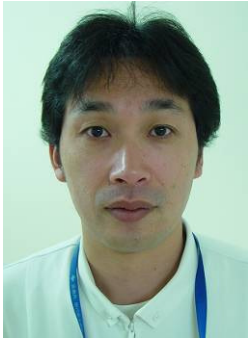
皆さんも旭川に来る機会があれば、ぜひ一度見に来てください。＼（^o^）／

各委員会 委員長就任挨拶

今年度より（社）北海道臨床工学技士会の各委員会において委員長、副委員長が任命され、各委員会の体制が強化されることとなりました。

そこで、数回に分けて各委員会の委員長に紹介も兼ねた挨拶をいただくこととなりました。

今回は安全委員会です。



安全委員会 委員長

旭川医科大学附属病院 成田 孝行

この度、安全委員長に就任いたしました旭川医科大学病院 成田と申します。

安全委員会は前任者であります脇田副会長より引き継ぎを行い、これからの安全セミナー運営や重要性の責任を感じております。安全委員会は過去5回のセミナー開催を行ってまいりました。安全委員会の役割としましては、実際に臨床現場で活躍する皆さんに対する安全情報提供、安全に関する技術提供などをセミナーを通じてディスカッションをして頂いて、個人は基より各医療現場への情報発信源となり、病院内での医療安全への貢献ができるような活動を目標としております。

現在の医療は皆さんも十分ご存じとは思いますが、高度医療に伴うME 機器増加に対する操作、技術の提供が臨床工学技士業務の役割でもあり、医療現場では医師、看護師など様々なスタッフと協力し合い医療を行っている現状にあります。

安全セミナーにつきましても、臨床工学技士のみならず色々な職種の方も参加できるようなセミナーを行う事と考えております。内容につきましては、今年度は呼吸療法を中心とした安全について開催する予定であります。

私たちは、皆さんが安全セミナーに興味を持ち多

数参加できるよう、色々な情勢や情報を集約して、参加して頂いた皆さんに「良かった」、「ためになった」、「また参加したい」と言われるようなセミナー開催の活動をして参りたいと思います。

活動につきましては、公益社団法人 北海道臨床工学技士会を中心として安全委員メンバー全員で頑張りますのでご支援のほど宜しくお願いいたします。

今回は、平成22年3月19日（土）に安全セミナーを開催する予定としております。安全委員メンバー全員で頑張りますので、皆さんの多数の参加をお待ちしております。

今後とも宜しくお願いいたします。

12月からの予定表

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。詳細は（社）北海道臨床工学技士会ホームページまたは各記載のwebサイトをご覧ください。

2010年 12月5日（日）

「第21回 北海道臨床工学会」

会場 札幌コンベンションセンター

札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

<http://hcea.umin.ac.jp/>

2010年 12月19日（日）

「第1回北海道呼吸療法セミナー」

会場 札幌医療科学専門学校 大講堂

札幌市中央区南4条西11丁目

<http://hcea.umin.ac.jp/>（要申込）

2011年 2月24（木）～ 26日（土）

「第22回 北海道人工呼吸セミナー」

会場 札幌医科大学講堂

札幌市中央区南1条西16丁目

（札幌医大臨床研究棟一階）

<http://www.kokyu-kanri.com/>（要申込）

2011年 2月24（木）～ 26日（土）

「第38回日本集中治療医学会学術集会」

会場 パシフィコ横浜

横浜市西区みなとみらい1-1-1

<http://www.congre.co.jp/jsicm2011/>

「臨床工学技士基本業務指針2010」が策定され 「臨床工学技士業務指針」が廃止されました



医政医発 1101 第 11 号
平成 22 年 11 月 1 日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医政局医事課長



「臨床工学技士業務指針」の廃止について

臨床工学技士については、近年、医療技術の進歩による医療機器の多様化・高度化に伴い、その操作や管理等の業務に必要とされる知識・技術の専門性が高まる中、当該業務の専門家として医療現場において果たし得る役割が大きくなっているところである。

従来、臨床工学技士の業務については、安全かつ適切な業務実施を確保する観点から、厚生労働省において「臨床工学技士業務指針」（昭和 63 年 9 月 14 日付け医事第 57 号厚生省健康政策局医事課長通知の別添）を示してきたところであるが、本年 3 月 19 日に厚生労働省の「チーム医療の推進に関する検討会」が取りまとめた報告書「チーム医療の推進について」（以下「報告書」という。）では、制度施行から 20 年以上が経過し、十分に制度が成熟した現状においては、職能団体や関係学会の自主的な取組によって、医療技術の高度化等に対応しながら適切な業務実施が確保されるべきであり、同指針については、廃止も含め、今後の取扱いを検討すべきと提言された。

報告書の提言を受けて、社団法人日本臨床工学技士会及び関連学会団体等から構成される臨床工学合同委員会において、本年 10 月 10 日付けで「臨床工学技士基本業務指針 2010」が公表されたところである。

今般、報告書の提言及び「臨床工学技士基本業務指針 2010」の公表を受けて、臨床工学技士業務指針を廃止することとしたので、貴職におかれては、御了知の上、各医療機関において適切な業務運営がなされるよう、貴管内の保健所設置市、特別区、医療機関、関係団体等に周知方願いたい。

◆RM ニュース◆

＜酸素吸入ミスで患者死亡＞

大阪府東大阪市の総合病院に呼吸困難で救急搬送された男性患者の処置にあたり、病院側が医療機器の操作を誤ったために約7分間酸素が送られず、男性は意識不明が続いた後、今年4月に死亡していたことが14日、分かった。

同病院によると、2009年6月、心臓病の59歳男性が救急搬送されたが、酸素吸入を行う際、救急外来の担当者が誤って男性の酸素マスクにつながっていないバルブを開けるミスがあったという。

7分後、男性の顔色が悪くなったことなどから医師が気付いたが、意識不明となっていた。

(2010年10月14日 提供：読売新聞)

＜人工心臓の管外れる事故、患者重体＞

福岡市の病院は15日、入院していた50歳代の患者につけていた補助人工心臓のチューブが外れる事故があったと発表した。患者は意識不明の重体という。

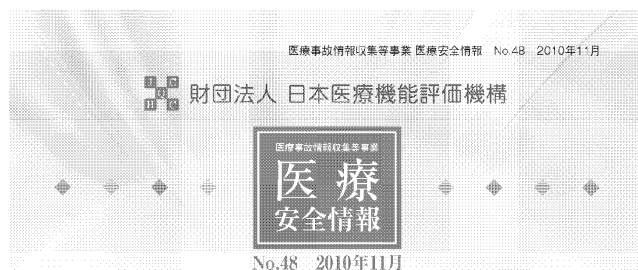
発表によると、13日の午前11時17分、看護師がナースコールで患者の部屋に入ったところ、体外の補助人工心臓から血液を循環させている2本のチューブのうち1本が外れ、患者が室内の壁にもたれかかるようにして倒れ、床が血だらけになっていた。同11時10分に患者の様子を見た時には異常はなかったという。

原因について、同病院は補助人工心臓につながるチューブの結束バンドが緩んだか、自力で歩行できた患者がトイレに行く際に誤ってチューブを踏んで外れたことなどが考えられると説明した。

(2010年9月15日 提供：読売新聞)

医療事故情報収集等事業医療安全情報

(詳細は日本医療機能評価機構のホームページをご覧ください)

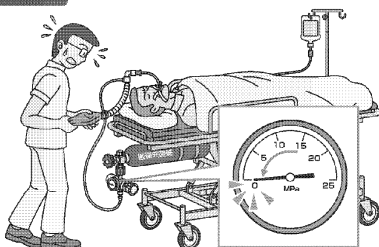


酸素残量の未確認

酸素ボンベ等の残量の確認に関連した事例が6件報告されています。(集計期間: 2007年1月1日～2010年9月30日、第17回報告書「共有すべき医療事故情報」(P183)一部を掲載)。

移動の際に使用した酸素ボンベの残量がゼロになったため、患者の呼吸状態に影響があった事例が報告されています。

事例のイメージ



酸素残量の未確認

事例

人工呼吸器装着中の患者を検査室へ移送する際、ジャクソンリース回路による人工呼吸を行っていた。検査室に到着後バッグのふくらみが悪くなったので、酸素ボンベを確認したところ、酸素の残量が無いことに気付いた。ボンベを交換している最中に心肺停止状態となり、救急蘇生を実施した。使用前に酸素ボンベの酸素残量の確認を怠っていた。

事例が発生した医療機関の取り組み

- ・酸素ボンベ使用開始時には、圧力計で酸素の残量を必ず確認する。
- ・使用中にも随時、圧力計で酸素の残量を確認する。

参考) 酸素ボンベ使用可能時間(分)の一例

酸素ボンベ (L/分)	圧/流量の表示(MPa)					
	14	13	12	11	10	9
1	490	455	420	385	350	315
2	245	228	210	193	175	158
3	163	152	140	128	117	105
4	123	114	105	96	88	79
5	93	87	81	77	70	63
6	77	73	69	65	60	56
10	49	46	42	39	36	32

① 酸素ボンベの使用可能時間の目安を明示しています。
② 換算方法は、酸素使用可能時間(分)÷ボンベ容量(L)×(圧力計の表示(MPa)÷10)×100で求められます。
③ 酸素ボンベの容量は、他の規格式があります。
④ 酸素ボンベの容量を3Lとして計算し、CUを算出します。
⑤ ボンベ内に残る酸素の量が考えられています。

本誌の医療安全情報は、医療事故情報収集等事業「発生・発生後支援等事業」において収集された事例をとり、当事業の一環として匿名化等委員会等の専門家意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
<http://www.med-safe.jp/>

本誌の情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を専らに依り保証するものではありません。

本誌の情報は、医療従事者の教養を創出し、医療従事者に読者や責任を担うものではないとされています。



財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0051 東京都千代田区三輪1-4-17 東洋ビル
電話: 03-5217-0252(直通) FAX: 03-5217-0253(直通)
<http://www.jqc.or.jp/html/index.htm>

理事会からのお知らせ

平成22年度10月～11月までの理事会において以下の報告・協議がされました。

- ・ 臨時総会の開催と結果報告
- ・ 道庁法人団体課による法人検査対応
- ・ 公益認定等審議会へ本申請
- ・ 道庁法人団体課から公益法人認定書の受領
- ・ 法務局へ公益移行に関わる登記資料作成と手続き
- ・ 道庁へ公益社団法人登記完了届けの提出
- ・ 各種セミナーにおける後援依頼対応
- ・ 第21回北海道臨床工学会に向けて
- ・ 日本臨床工学技士会 代議員立候補者への推薦について

日本臨床工学技士会

代議員立候補者への推薦について

北海道から立候補する方々に対し、理事会によって、当会推薦を付けることになりました。推薦する立候補者は以下になります。

全国区

真下 泰（札幌社会保険総合病院）

大澤 貞利（釧路泌尿器科クリニック）

地区

脇田 邦彦（旭川赤十字病院）

加藤 伸彦（北海道大学病院）

室橋 高男（札幌厚生病院）

この立候補者の皆様には、全国の臨床工学技士のために、北海道の臨床工学技士の意志を伝えつつ、ご尽力頂くことを期待します。

そして、秋田県臨床工学技士会から全国区へ立候補する2名に当会推薦のお願いがあり、理事会で検討した結果、今までの当会との信頼・協調関係を鑑み、許可することとしました。

守澤 隆仁（花園病院 秋田技士会理事）

佐藤 忠寛（雄勝中央病院 秋田技士会理事）

その他にも山形県臨床工学技士会とは同様な関係にあるため、山形県からの立候補者には秋田県技士会と同様としく、会員の皆様宜しくお願い致します。

推薦する立候補者皆さんには、日本臨床工学技士会で活躍して頂くために、会員皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

メーリングリスト参加のご案内

技士会の情報網拡充のためメーリングリストの運用を開始しておりますので是非ともご参加下さいますようお願い致します。

現在、技士会ニュース以外に情報を伝達する手段がなく、緊急連絡事項が発生した場合は電話などを利用し、出来る範囲で情報伝達作業を行っていましたがこの方法では限界があります。今後はこのメーリングリストを充実させて技士会の重要な連絡網として活用していきたいと思います。

目標は全会員登録です。

当会ホームページのメーリングリスト新規登録・登録内容修正フォームから簡単に登録が可能です。

運用上のお願いです。登録後、メールアドレスの変更、施設名・所属・お名前が変わった際には速やかに下記のメーリングリスト登録・修正画面から修正登録して下さいますようお願い致します。届かないメールアドレスが増えると管理が大変になりますのでどうかよろしくお願い致します。



経験と実績から生まれたME機器管理システム

HOSMA®

Hospital Management System

詳しくはネットで ▶▶▶

www.hosma.net



株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL: 011-644-6400

手術台販売台数 No.1

MIZUHO

瑞穂医科工業株式会社

北海道センター 〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目6番地(37 山京ビル2F)

TEL 011-716-4731

豊富なバリエーションで、患者さん一人ひとりの
ニーズにお応えしてまいります。

≫ 旭中空糸型ヘモダイヤフィルター ポリスルホンヘモダイヤフィルター

ABH-F Series

旭化成医療機器
旭中空糸型ヘモダイヤフィルター
承認番号: 2200002200060000



旭化成ワレメディカル株式会社
<http://www.asahikasei-kuraray-medical.co.jp>

スピードと安全が要求される
医療現場に貢献します。

≫ 血液浄化装置

ACH-Σ シグマ®

Speedy Safety Smart

多用途血液処理装置
血液浄化装置 ACH-Σ
承認番号: 2100002200070000



経口そう痒症改善剤 劇薬、処方せん医薬品^{注)}

薬価基準収載

レミッチ® カプセル2.5μg

REMITCH®

一般名: ナルフラフィン塩酸塩

注) 注意-医師等の処方せんにより使用すること

本剤の「効能又は効果」、「用法及び用量」、「用法及び用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。

TORAY

製造販売元
東レ株式会社
東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号



販売元 (資料請求先)
鳥居薬品株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1
<http://www.remitch.jp>



提携
日本たばこ産業株式会社
東京都港区虎ノ門二丁目2番1号

2010年6月作成

持続型赤血球造血刺激因子製剤

生物由来製品、劇薬、指定医薬品、
処方せん医薬品・注意・医師等の処方せんにより使用すること

ネスプ[®] 静注用プラシリンジ

10・15・20・30・40 μ g/1mL 60・120 μ g/0.6mL

【薬価基準収載】一般名：ダルベポエチン アルファ（遺伝子組換え）

効能又は効果、用法及び用量、禁忌、使用上の
注意の詳細は最新の添付文書をご参照ください。



製造販売元

協和発酵キリン株式会社

東京都千代田区大手町一丁目6番1号 〒100-8185

www.kksmile.com

【資料請求先】

2009年3月作成
登録商標

‘TORAY’
Innovation by Chemistry

透析用監視装置 **TR-3000MA**

逆ろ過透析液によるサポート機能
プライミング・返血・脱血・急速補液・手動送液の
各サポート機能を標準搭載しました。
自動化による業務効率化を推進し、プライミング・
返血時等のコスト低減に寄与します。

医療機器承認番号：222C007X00114003

製造販売元 **東レ・メディカル株式会社**
<http://www.toray-medical.com/>

医療と福祉の融合を目指す
アクティブグループ



URL <http://www.aotg.co.jp>

専門スタッフが豊富な知識・技術・経験を駆使して
医療現場をフルサポート致します。

医療機器・医療材料の総合商社

株式会社アクティブメディカル

東京都文京区西片1丁目15番15号春日ビジネスセンタービル

支店：横浜・千葉・札幌・旭川・帯広・室蘭・釧路

医療機器承認番号 21900BZX00777000

ECOタイプ V型

ポリネフロン[®]

PES-SEA^{eco} シリーズ



NIPRO

製造販売 ニプロ株式会社

大阪市北区本庄西3丁目9番3号

中空糸型透析器 高度管理医療機器 ホローファイバー型ダイアライザー機能別分類V型



安全機構付き
止血弁内蔵透析用留置針

ハッピーキャス ONE



メディキット株式会社

発 売 元：メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-13-2 TEL.03-3839-0201
製造販売元：東都メディキット株式会社 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字龍川 17148-6 TEL.0982-53-8000
<http://www.medikit.co.jp/>
<http://www.togomedikit.co.jp/>



医療機器承認番号：21400BZX00343000

NIKKISO
Original technologies

D-FAS

Dialysis - Full Assist System

日機装株式会社
www.nikkiso.co.jp

北海道支社 メディカル営業部
〒003-0807 北海道札幌市白石区菊水7条2-7-1 札幌流通倉庫東ビル7F TEL: 011-826-5451
北見営業所
〒090-0051 北海道北見市栄栄町1-11-34 アクティブウェルズ211番街2号室 TEL: 0157-22-5811

準備から返血までの操作をひとつの流れとして
安全性の向上と作業性の最適化を実現しました

MODEL DCS®-27
透析用監視装置



血液凝固阻止剤(ヘパリンナトリウム製剤)

ヘパフィールド®

透析用250単位/mL シリンジ 20mL

*注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

JMS

販売元
株式会社 ジェイ・エム・エス
広島市中区加古町12番17号

Otsuka

製造販売元
株式会社大塚製薬工場
徳島県徳門市津美可立岩手芥原115

日本標準商品分類番号 87 3334
薬価基準収載

- 清潔操作を実現
- 薬剤汚染を防止
- 誤投薬を防止
- 調製作業を簡略化
- 充てん操作が不要
- 作業速度が向上

効能・効果、用法・用量、原則禁忌を含む使用上の注意等詳細は、現品添付文書をご参照ください。

数字と目盛りが見やすい!
内容量が確認しやすい!
より使いやすくなりました。
※製品色は赤紫色から青色に変わりました。

THE SERVO BRAND

サーボベンチレータは、信頼のある性能と使いやすさを備えたベンチレーションシステムです。病院内の多種多様な条件に合わせて使用することができます。

MAQUET

FUKUDA DENSHI

本 社 / 〒060-0906 北海道札幌市東区北6条東2-2-1 TEL (011) 721-3251(代) <http://www.fukuda.co.jp/>
お客様窓口... ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間: 月~金曜日(祝祭日、休日を除く) 9:00~18:00
● 医療機器専門メーカー **フクダ電子北海道販売株式会社**

● 旭川営業所 〒078-8345 北海道旭川市東光5条3-1-1 ☎ (0166) 32-6970(代)
● 釧路営業所 〒085-0058 北海道釧路市愛国東2-11-16 ☎ (0154) 39-1088(代)

● 函館営業所 〒040-0012 北海道函館市時任町20-15 ☎ (0138) 55-6097(代)

新生児・小児・成人用人工呼吸器
サーボベンチレータ

Servo*i*

医療機器承認番号:
21200BZY00120000

日本語ソフトとの連携で 簡単・効率的にテストを行えるME機器チェック

輸液ポンプチェック、除細動器チェック、パルスオキシメータチェック、SpO₂センサテスト、
ECGシミュレータ、ベシエントシミュレータ、非観血式血圧計チェック、電気安全アナライザ



簡単オートテスト

レポート自動作成

データ管理もできる!

機器台帳 購入台帳
試用台帳 配置表
貸出・返却

さらに

機器管理システムが連動!

管理レポート
定期保守 点検保守
部品管理 ICタグ連動

院内ME機器・医療備品を台帳・カルテ管理する
ME機器総合情報管理システムとの連携により、
保守・点検時に測定した各種データやレポートを
自動的に電子データにて管理することが可能です。



Something to Life **METS** 株式会社 メッツ
〒120-0036 東京都足立区千住仲町1-7
E-mail: sales@mets-tokyo.jp TEL: (03) 3888-8445

北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当 仁友会 北彩都病院 臨床工学科 石川幸広
旭川赤十字病院 臨床工学課 脇田邦彦
編集委員 旭川赤十字病院 臨床工学課 奥山幸典
旭川リハビリテーション病院 木村吉治
仁友会 北彩都病院 臨床工学科 野尻 誠

印刷

前田印刷株式会社

〒078-8233

旭川市豊岡3条6丁目

2番20号

0166-34-0111